



医療被ばく低減施設認定を取得しました!



山本 進治 (放射線部 主任)
平井 幸栄 (放射線部 技師長)
稲生 信一 (放射線部 部長)

このたび、当院は平成 25 年 8 月 1 日付けで、公益社団法人 日本診療放射線技師会の事業である“医療被ばく低減施設”に認定されました。全国で 38 番目、社会保険病院関連では初の施設認定となります。医療被ばく低減施設とは“安心できる放射線診療”を国民の皆さまへ提供することを目的としています。当院放射線部の取り組みについてご説明させていただきます。

1. 患者さまへの対応について

放射線診療では、患者さまとの信頼を築くことが重要と考えます。私たち診療放射線技師は患者さまと接するとき、挨拶からはじまり積極的に話を聴き、患者さまの立場になり考え、お答えいたします。

“安心・安全を提供いたします”

2. 放射線診療の行為の正当化について

医師により、放射線の影響よりも X 線検査等で得られる診断情報や治療効果判定の方が患者さまにとって有益であると判断された場合に検査が行われます。

“大きな利益をもたらします”

3. 放射線防護の最適化について

放射線機器が適切に動作するために、メーカーによる定期点検に加え、診療放射線技師による点検を毎日行っています。また当院装置において、検査ごとの被ばく線量を推計し、値を掲示しています。この値が適切であるかガイドラインとの比較を行い、必要であれば改善しています。

“最適な放射線量で検査を行います”

4. 放射線被ばく線量と影響について

最新の文献、論文等から情報を収集し、放射線診療を受ける患者さまへの影響を考慮して検査を行っています。

“情報を提供いたします”

5. 小児撮影について

毎日の機器点検に加え、撮影直前にも安全確認を行っています。また最低限の被ばく線量となるように撮影条件、撮影範囲の設定、また適切な防護を行っています。

“細心の注意を払って検査を行います”

6. 医療被ばく相談窓口の開設

患者さまからの医療被ばくに関する疑問・質問にお答えするための窓口を開設いたしました。当院における検査等での被ばく線量を公開いたします。また過去の履歴に関してはお時間をいただく場合があります。

“お気軽にご相談下さい”

放射線に対する関心が高まるなか、私たち“診療放射線技師”は放射線診療に対する患者さまの不安に対し、こらからもお役にたてるよう努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

